

啓伸塾便り

きさらぎ
2月(如月)
February

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、冬の新入塾生募集中

すき間時間の使い方

「遊ぶ時間は削りたくないから勉強の時間がない」という子に、よい方法があります。それは、すき間時間をうまく利用することです。

「ビジネスマンの資格試験の勉強法として、すき間時間の利用法」というのをよく聞きます。「ビジネスマンは、通勤時間や人を待つ間の少しの時間をすき間時間として、このような勉強の時間にあてている人が多いようです。」

- では、小・中学生に当てはめるとどうなるでしょうか。
1. ホットしてこの時間
 2. トイレに入ってくる時間
 3. お風呂の時間
 4. 夕食が食べ終わるのを待っている時間

など、考えられると少なからず30分以上は、勉強にあてられる時間があると思います。

そのすき間時間も、一、二分から五分、一〇分以上までいろいろあります。一分なら漢字を一つ、英単語一つ、計算問題一題をする時間にあてられます。

また、一〇分なら、算数、数学の文章問題を解く時間にあてられます。このように工夫すれば、勉強時間は簡単に作る事ができます。私自身も、時間は作るものだと教わりました。

以前、ある中三生に、「学校から帰ってきてから、夕食が食べられるまでの時間、何をしていたか」と聞いたことがあります。その子は、「ホーッとしてるー」と答えてくれました。

それなら、その時間を勉強の時間にあてようよとアドバイスしました。夕食を待っている時間は一時間ほどあったそうです。

中学校でつまづかないために

「プレゼント Family 2020年(冬号) 数学が大好きになる魔法のレッスン 12」より

中学校の数学で、子どもたちが最初につまづくのは、「文字式」です。式に文字が使われると急に難しく感じて混乱するようです。

例えば、 $5-(6+a)$ のような問題が出されると、 $5-6+a$ と間違えて計算してしまう子がけっこういます。

文字式の計算は、小学校時代の四則演算の拡張版です。もっと具体的に言えば、小学4年生で習う「計算の順序」 — カッコの中を先に計算する、わり算・かけ算はたし算・ひき算より先に計算する — がわかっていれば解けるはずです。

例えば、 $12-(6+3)$ という問題なら、() の中から計算するので、 $12-9$ になります。

このことから、() を外して考えると、 $12-6-3$ と計算していることがわかります。これを文字式に置き換えると $a-(b+c)$ は $a-b-c$ となるわけです。

計算の順序があやふやだと中学以降で当たり前のように使われる文字式で混乱してしまうので、しっかり確認しておきましょう。

この計算の順序がしっかり理解できていれば、次のような一次方程式の問題で

$$3x+15 = 9$$

$$3x = 9-15$$

と数を「移行」したり、さら $x = -6 \times \frac{1}{3}$ と「逆数をかける」こともスムーズに理解できるようになります。

啓伸塾では、このことを理解して、小4の授業の中で、復習テストとして何回も練習し、小5、小6でも忘れないように時々繰り返します。

また、小5では割合、小6では比例・反比例と中学数学・高校数学の基礎となる単元があります。割合、比例・反比例の重要性は、次回お伝えします。

プログラミングの授業が、小学校や中学校で、来年度から本格的に導入されますが、プログラミングで習う論理的な思考力は、その学習をする前に算数でしっかりと子供たちに理解してもらう必要があります。

2月の予定

中3入試対策指導 2月1日・8日・15日・22日・29日(土)
(13時30分~17時) 入試前日まで入試対策講座は続きます。

2月11日(火) 建国記念日・24日(月) 振替休日は、通常通りの授業を行います。

中学1年・2年、小学生のご父兄様は、保護者懇談の方も、よろしくお願ひいたします。また、新年度についての確認の文書のご提出もお願ひいたします。

入試の二カ月前ほどのことです。彼は学校がある日は、毎日、それを実行しました。二か月間ですから、かなりの時間になりました。

これが、決定的な原因になったかはわかりませんが、彼は、無理かなと思っていた志望校に見事合格しました。

努力は、その努力した人を裏切りません。今までの生活習慣を変えるのは大変ですが、できそうなことから少し決心して、始めましょう。生活スタイルを変えずに、勉強時間を増やすの方法を、だまされたと思って実行してください。

テストで点数の取れない子、特に中一で昨年4月の中間テストからだんだん下がってきた子は、小学校からの習慣がそのまま続いていて、絶対的な勉強時間が少ないのです。

ただ自主勉強をやっているだけなのです。点数を上げようと目標を持って、自分から「わからないことを解決していく気持ち」がないと、テストで点数を取ることができません。

心当たりのある子は、自分を変えてください。

最後に一言、勉強が好きなお子はいません。自分を変えようとする努力をしてください。もう一つ、アドバイスがあります。

ゲームとスマートフォンです。点数の下がった子は、勉強時間よりゲームやスマートフォンをする時間のほうが長いではありませんか？

自分をコントロールできない子は、家での一定時間、スマートフォンを保護者の方に預けるなどして、第三者に制限してもらわないと、いつまでたっても、勉強時間を増やせません。

テストの点数を上げるためには、勉強時間を増やさないとはいけません。

テストの点数の伸びは、勉強時間(量)に比例します。